

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 憩いの家作成日: 平成 30 年 1 月 29 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を定期的で開催しているが、参加委員が固定化し、報告会が中心になっているので、会議の運営や議題について検討し、参加委員にとっても知識や情報を得る会議として、有意義な会議にしていく。	参加委員を有識者、知見者、薬剤師、他グループホーム管理者等から参加を募り、会議の活性化を図り、ホームの繁栄だけでなく、参加委員にとっても知識や情報を得られる場として、参加しなくなる会議を目指していく。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族の意見の反映	面会の多い家族とは、職員がコミュニケーションを取りながら、家族の意見や要望を聴き取れるが、話す機会の少ない家族とも話し合い、家族と一緒に利用者を支えていく関係を築いていく。	ホーム便りを定期的に作成し、ホームの現状や利用者の近況を理解してもらい、離れていても、利用者の日々の暮らしや健康状態を家族に掌握して貰い、家族とホームの信頼の絆に繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。